

# 風流々

- 27号

編集・発行

乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑

〒 617-0813 京都府長岡京市井ノ内17-18

TEL:075-954-6501 FAX:075-954-6588

Web <http://www.otsuhuku.com/wakatakeen.htm>

新年度挨拶

施設長 石野 功一

平成29年度の開始にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より乙訓若竹苑の各事業の運営に関しまして、利用者、ご家族、関係各位の皆様から、ご理解とご協力をいただいておりますことを厚くお礼申し上げます。引き続き今年度もよろしく願いいたします。

さて乙訓若竹苑ができてから35年目の春を迎えました。その間、法律や制度が変わり、乙訓若竹苑はその時々々の状況に応じた運営を行ってまいりました。今後の事業展開におきましても、地域ニーズや利用者の状況等を踏まえながら公立施設としてのあり方を乙訓2市1町と協議しながら考えていきたいと思っております。

今年度において新しく変わった点としましては、まず、就労継続支援事業において、送迎を開始しました。これにより希望者全員というわけではございませんが、今まで通所が困難であった方がより通いやすくなったことと思っております。

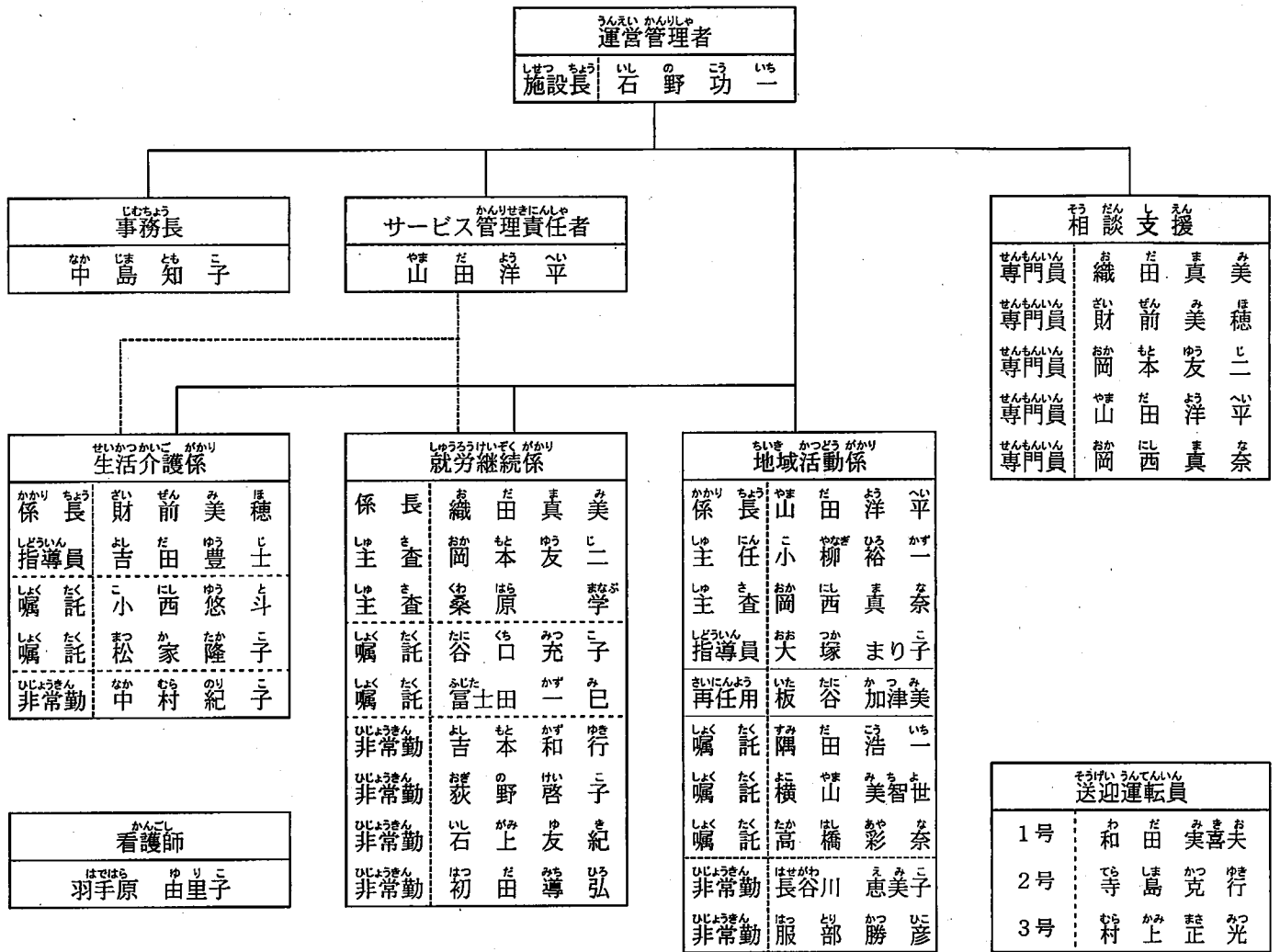
また日中一時支援につきまして、ここ数年の利用状況や地域の現状を踏まえ、定員を1人増やし5人といたしました。またそれに加えて緊急時の際に利用できる枠を1人分新たに設けました。これはご家族の急な病気等により急遽日中一時支援が必要になった場合に利用していただけます。このことにより、今までよりも利用者の便宜が図られるものと考えています。

また新規で歯科検診とそれに伴う口腔ケアの実施を位置付けました。口腔ケアにつきましては、利用者の高齢化等によりその必要性が高まってきており、定期的なケアにより利用者にとって口腔内の適切な環境を整えることにつながるものと考えています。

また各事業の開苑日につきましては事業単位で設定し、少しずつではありますが増やしていくことを今後予定しております。

設備面におきましては、多目的室を改修し、相談室を確保するとともに日中一時支援での利用を考慮し、より使いやすいようにしました。さらに、汚れや傷が激しかった床の全面張り替えを行っています。また今年度には不審者対策としまして建物出入口を中心に防犯カメラの設置を予定しております。

施設自体には、まだまだ改修していきたいところはあるのですが、利用者にとっても少しずつでも快適な空間を目指していくとともに、支援の在り方についても皆様方のご意見等も踏まえながらより良い方向に向かっていければと考えております。



しゅうろうけいぞくがかり 就労継続係

係長 織田 真美

平成29年度が始まり、早くも1ヶ月が過ぎました。ここ数年毎年、職員の入れ替わりが続いているため、新しい職員との関係づくりも慣れてきたのか、大きな混乱もなく新体制での生活を過ごしていただき、ほっとしています。

昨年度は、墓清掃が激減した分、時々レクリエーションの回数を少し増やしました。買い物やカラオケ、忘年会と称してお好み焼きやパフェ作りをして楽しい時間を過ごしました。今年度は福祉施設の清掃作業が改装工事の影響で減額となってしまいました。2年連続の減額となり、利用者の皆さんにもご家族にもガッカリさせてしまうことになりましたが、今年度はレクリエーションの充実を図り、お楽しみ会や日帰り旅行も含めて、毎月1度レクリエーションを実施しようと計画中です。

作業においても、全員で取り組める新しい作業を取り入れ、自主製品として始めたべながら染め製品も早々ご注文いただくなど、作業内容も充実させていきたいと思っています。

平成29年度も仕事と息抜きと皆さんに楽しい気持ちで通所していただける就労継続支援（B型）事業を目指します。どうぞよろしくお願い致します。

## せいかつかいごがかり 生活介護係

係長 財前 美穂

平成29年度が始まり1ヶ月が経とうとしています。新事業体制になり早くも10年目となりました。生活介護事業の活動内容は、この10年で変わらない部分と大きく変化している部分とがあります。現在は利用者さんにとって見通しが持てる活動を基盤に、新たな活動を取り組むというスタイルで色々なことに挑戦しています。新しい活動を実施するときは、「何をするの?」と楽しみ半分、不安や緊張も半分といったご様子の利用者さんですが、活動が楽しかったり、達成感を得ることで自信がつくと、みなさんととても良い表情になります。

先日は、アロマ講師を招いた石鹸作りを参観行事として実施しました。見慣れない講師に保護者の方も一緒に『いつもと違う雰囲気』の中でしたが、素敵なお石鹸を作ることができました。今後は、利用者さんだけでなく保護者の方や地域の方との交流なども視野に入れた活動を考えていきたいと思っております。

## ちいきかつどうがかり 地域活動係

係長 山田 洋平

地域活動支援センターが出来て11年目を迎えます。地域活動支援センターの利用者の中には様々なニーズの方がおられ、通苑日数も異なるため、日々の取り組みの内容について吟味を重ねています。その中で、利用者の方にとって少しでも良い支援となるよう、職員一同、考えておりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

日中一時支援事業は当初は定員3名でしたが、今年度からは定員5名+緊急枠1名になりました。それだけご希望の多い事業となっています。日中一時支援事業の緊急枠は、ご家族の急な病気、葬儀の場合に利用日直前であっても利用していただけます。このサービスの利用につきましては、日中一時支援事業の受給者証が必要ですので、相談支援事業所又は若竹苑にご相談下さい。

あたら しょくいん あいさつ  
新しい職員のご挨拶

ちいき かつどう がかり おおつか まり子  
地域活動係 大塚 まり子

4月から地域活動係に配属になりました、大塚まり子と申します。

平成29年2～3月末の2ヶ月間はアルバイトとして就労継続にお世話になりました。利用者さんのお仕事の時の真剣な姿勢や、休憩時間にお話されているときの楽しそうな姿に、また4月からは地域活動や日中一時での活動の中で、生き生きと過ごされているみなさんの様子を見て、元気をいただいています。私もみなさんに負けないよう、毎日楽しんで頂けるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

しゅうろう けいぞく がかり ふじた かずみ  
就労継続係 富士田 一巳

「富士田さーん、これどうしたらいいですか？」

判断を仰ぐ際、利用者さんからようやく呼んでもらえるようになりました。まだまだ教えてもらうことの方が多いですが、早く利用者さんに頼られる職員になれるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

せいかつ かいご がかり まつか たかこ  
生活介護係 松家 隆子

こんにちは。2月から生活介護係で働かせて頂いています。松家 隆子と申します。最近では利用者の皆さんに気軽に話しかけて頂けるようになりました。日々、楽しく活動をしています。新しい事などにも挑戦しながら皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。